

事務事業名	社会資本整備総合交付金事業(舗装修繕)				会計	一般会計		事業種別	政策	開始	終了	
H27担当課等名	土木課		H27係等名	維持係		H26係等名		維持係				
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり				施策	44	交通機関と道路の充実			
目的	対象(誰・何を)	大規模に補償修繕が必要な市道				対象指標	指標名及び単位		26年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	舗装の供用性能を一定水準以上に保つ					修繕実施:箇所		3			
	向上させたい上位施策の成果指標	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路):%										
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	修繕施工路線数:路線			1	3	2	1				
	定性目標											
事業概要	社会資本整備総合交付金にて整備する路線を市道の維持管理方針により点検評価を行い選定し、順次整備を行う。											
26年度事業内容	事業内容				名称			活動指標				
	1 測量設計・地元協議・工事施工 (1)市道1-54号伊豆木下瀬線 (2)市道座光寺33号線 (3)市道竜丘118号線				1 事業実施距離数			1 3路線				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		84,875	103,670	73,637	46,200	(国)社会資本整備総合交付金(5.5/10) (地)公共事業等(充当率90%) (そ)繰越金 25→26繰越明許費 62,737千円 26→27繰越明許費 30,020千円						
国庫支出金		45,248	56,503	40,003	24,750							
県支出金												
起債		33,300	42,400	30,300	19,300							
その他		2,574	2,847	2,834								
一般財源		3,753	1,920	500	2,150							
人件費計(千円)②		1,573		1,573								
正規職員所要時間		440		440								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		86,448	103,670	75,210	46,200							
事業内容・目標達成状況の振り返り	市道1-54号伊豆木下瀬線は完了、座光寺33号線(河原)は一部を残し完了した。重要路線の劣化の度合いについて点検を実施し、短期の修繕計画を作成し実施できた。											
改革改善の考え方	①問題点	重要度に応じて修繕を実施する必要がある。										
	②改革提案	市道の重要度及び劣化の度合いを勘案し修繕計画を作成する。										